



今号の主な掲載内容

- 会派から年頭のごあいさつ 2・3
- 区政を問う 一般質問 など  
 区の施策の状況や今後の方針などについて、18名の議員が質問しました 4-6
- 常任委員会・特別委員会等の活動をお知らせします など 7
- 議案等の概要と審議結果  
 会派ごとの議案等への賛否を掲載しています 8

《声・点字の区議会だより》

本紙を録音した「声の区議会だより」や「点字版区議会だより」をご希望の方に郵送でお届けしていますので、お知り合いの方にお知らせください（お申し込みは区議会事務局へ）。

本紙には随所に二次元コードがあります。これをスマートフォン等で読み込むと、該当の情報に素早く簡単にアクセスできます。本会議、予算・決算特別委員会の録画映像を杉並区議会ホームページからご覧になれます（本会議はライブ中継もしています）。



新年のごあいさつ



杉並区議会議長  
 井口 かづ子

明けましておめでとございます。皆さまにおかれましては、お健やかに新年をお迎えになられたことお喜び申し上げます。

昨年は、元日から能登半島地震が発生し、9月には豪雨が奥能登地方を襲いました。災害がもたらす被害の深刻さを痛感させられ、改めて防災対応力の強化の必要性を感じたところです。そのような中、10月の第52回東京都消防操法大会において、荻窪消防団第二分団は可搬ポンプ操法の部で優勝。杉並消防団も女性消防操法の部で準優勝に輝きました。地域の皆さんが自分のまちを守るために、積極的に防災活動に参加されていることを頼もしく思います。

国際的な面では、嬉しい知らせが相次ぎました。夏のパリでのオリンピック・パラリンピック大会では、多くの日本人選手の活躍に勇気付けられました。特に杉並区出身の渡辺勇大選手はバドミントン混合ダブルスで2大会連続の銅メダルを獲得する快挙を成し遂げました。また、12月には、被爆者の立場から核兵器の廃絶などを訴えてきた日本原水爆被害者団体協議会（被団協）にノーベル平和賞が授与されました。原水爆禁止署名運動発祥の地である杉並区では、杉並光友会（原爆被爆者の会）の皆さまが核の恐ろしさ、平和の大切さを語り継いできました。この歴史的な受賞に対し、格別の敬意と敬意を表したいと思います。

さて、令和5年に発足した新生区議会は、今年で折り返し地点に達します。区議会としましても、区民福祉の向上を図り、誰もが自分らしく、いきいきと暮らしているように、地域の声をしっかりと伺いながら、区の施策への反映に尽力してまいります。

蛇は脱皮して成長することから、巳年は変化や新しいことが始まる年、また「巳」を「美」にかけて実を結ぶ年とも言われています。皆さまにとって、実り多き一年となりますことを心からお祈り申し上げます。

本年もよろしくお願いいたします。



## 杉並区民主議会

区民の皆さまにおかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。本年の干支は「乙巳(きのと・み)」です。「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく年」になると言われていきます。5年後の2030年には、国内人口の約3分の1が65歳以上の高齢者となり、現役の働き世代の減少がより顕著となります。それまでの間に、少子化対策や働き方改革など、いかに具体的な施策を講じていくかが重要となってまいります。少

子高齢・人口減少社会は私たちの生活スタイルを大きく変えることになりませんが、共に時代の変化に対応していかなくては考えています。他方、杉並区政に目を向けますと、区政経営の羅針盤である「杉並区基本構想」を軽んじた事例が多発していることを懸念してまいります。区長が主導する、バラマキ型の施策展開は杉並区の持続可能性に大きな影響を及ぼしますので、議会が果たすべき監視機能の

役割は、ますます重要となってまいります。杉並区議会自由民主党としては、現場に根付いた議員が皆さまの声を傾け、国や都との連携を図りながら現役世代と将来世代の双方を見据えた政策をつくっていく所存です。本年が区民の皆さまにとって、干支で言われる通りの「発展していく年」となることをご祈念申し上げ、新年のご挨拶とします。



吉田 あい



藤本 なおや



大和田 伸



浅井 くにお



脇坂 たつや  
(幹事長)



へんみ 純一



わたなべ 友貴



矢口 やすゆき  
(副幹事長)

## 無所属・都民ファーストの会

新年おめでとうございます。昨年は国政において総選挙が実施され自公の議席が過半数を割り野党を含め政策本位による政治が進められる結果となりました。また、国民生活は一昨年同様、燃料・資源コスト高、円安による急激な物価高騰が日々の生活を圧迫していますが改善の道筋や

見通しは立っていません。区政に目を転じると、区長は、自身の興味がある分野ばかりに執心で、緊急的な区政課題には関心が薄く、区民の窮状をくみ取る施策が不十分なままに、区長任期の2分の1が過ぎました。私も会派は区民の目線で現在の区政に何が必要なのか現状を直視し、57万人区民が安心・安全・豊かに暮らせる杉並区を目指し責任ある会派

として区政運営をチェックしてまいります。また、区民生活に必要な対策を迅速に図るよう具体的な施策を提案し求めてまいります。本年もどうぞよろしくお願い致します。



安斉 あきら  
(幹事長)



あかねがくほ舞



井口 えみ



宇田川 ゆうじ  
(副幹事長)

## 杉並区民主団

新年おめでとうございます。私たちは本年も、日本国憲法の個人の尊厳の理念、そして区民の皆さまが区政の主役となる住民自治の理念を大切にしていきます。岸本区政でも人権施策と区民参加の取組が進んでいます。子どもの権利保障の取組や

ジェンダー平等に関する審議会の立ち上げ、多文化共生のための取組等、全ての区民の尊厳を守るための歩みが本格化しています。そして、道路計画、区立施設、子どもの居場所のあり方のほか、グリーンインフラによる水害対策など諸課題において区民対話の場が次々に展開されています。児童館の存続と7地域での新設が打ち出



ひわき 岳  
(幹事長)



安田 マリ

## 区議会生活者ネットワーク

新年おめでとうございます。少子高齢社会、地球環境の危機、自然災害、物価高騰など暮らしに影を落とす諸課題が山積みですが、誰もが安心して暮らせるまちの実現に向けて実直に取り組んでまいります。今年も私も長年切望してきた「子どもの権利条例」元年となります。区民のあらゆる施策を子どもたちと共に当事者目線でチェックし、子どもにやさしい杉並区となるよう、子育てを全力で応援していきます。

昨年、奥山(無所属)は、杉並区のエンディングノートに身寄りのない人のために死後事務委任の手続きを書き込むよう提案。山名(れいわ新選組)は、女性が自分の身体のことを自分で決める権利が守られるよう提案し、安全で安価に中絶ができる権利について取り組みました。今年、奥山は、不安を抱える高齢者の相談窓口の充実、山名は、女性の権利が守られる杉並区に向けて取り組みます。



奥田 雅子  
(幹事長)



そね 文子



奥山 たえこ  
(幹事長)



山名 かなこ

## れいわを耕す

新年おめでとうございます。ゼロカーボンシティ杉並区は、気候区民会議の開催、区有施設の再エネ化など2030年のCO2半減に向けて一歩ずつ前進しています。自転車フレンドリー、みどりを増やし

てグリーンインフラを推進、平和と全ての人の人権が守られ、住民自治を実現する社会を目指して今年も頑張ります。



プランジャー明日香

されたことは成果の一つです。住民自治の取組により、皆さまの多様な声が杉並の力になり、誰もが自分らしく安心して暮らすことができるまちへと変わります。対話の場にぜひご参加ください。

長期化する物価高騰対策はもちろん、昨年は能登半島地震が発生しましたが、杉並区の震災対策強化も急務です。私たちは皆さまの声とともに尽力していきます。本年もよろしくお願いたします。



てらだ はるか



赤坂 たまよ  
(副幹事長)



松本 浩一



前山 なおこ  
(副幹事長)

## 杉並わくわく会議

新年おめでとうございます。記録的な円安と物価高騰が国民生活を脅かした昨年、総選挙では与党への強い批判が表明されました。グローバルサウスの発展により欧米支配の世界が大きく変わろうとす

る中、日本も政治の転換が求められています。本年も区民生活を守るために全力で奮闘します。



松尾 ゆり

## 共に生きる杉並

新年を謹んでお慶び申し上げます。皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。大自然と共に、人々と共に、共に生きる世の中を、杉並から広げていきましょう。かけがえのない私たち一人

ひとりの命が輝いて生きていく社会を、みんなで目指していきましょう。世界が平和でありますように。



木梨 もりよし



日本共産党 杉並区議団

新年おめでとうございませ...



富田 たく (副幹事長)



くすやま 美紀



酒井 まさえ



山田 耕平 (幹事長)

響を及ぼしています。...

本区政は廃止方針を撤回。...



和氣 みき



小池 めぐみ

維新・無所属 議員

新年おめでとうございませ...



井口 かづ子



田中 朝子 (副幹事長)



鈴木 ちづる



松本 みつひろ (幹事長)

政策実現にこだわり、是々...

を実現させる、持続可能な杉...

安心・安全 杉並の会

明けましておめでとうござい...

さらにその一部は一般質問...

本年も相談しやすい身近な...



倉本 みか

杉並区議会 公明区議党

謹んで新春のお慶びを申し...



渡辺 富士雄



おおつき 城一

一方、長引く物価高が生活...

参政党 杉並

新年おめでとうございませ...



横田 政直

の問題、教育の問題、食と...

都政を革新する会

日米政府は「27年開戦」を...



ほらぐちともこ

であっても、阿佐ヶ谷再開発...

杉並をセンタク 致し候

区長就任から2年半。任期...



田中ゆうたろう

が現実です。区政一新を期し...

に備え、区における防災・減...



中村 康弘 (副幹事長)



川原口 宏之 (幹事長)



斉藤 りか



山本 ひろ子

時代を見据えた「幸福社会」...

無所属(堀部)

課題山積の杉並区政ではあ...



堀部 やすし

ことができました。本年も杉...

区政杉並クラブ

新年おめでとうございませ...



岩田 いくま

ク「フランス革命の省察」。...

far right

明けましておめでとうござい...



小林 ゆみ

と水筒の異物混入問題等、杉...

# 区政を問う 一般質問

区政全般にわたり、区長をはじめとする執行機関に対して行う質問を一般質問といいます。  
11月19日～21日・25日に18名が質問しました。その要旨をお知らせします。  
※二次元コードを読み込むと、質疑応答の全内容を質問者別の動画でご覧になれます。

杉並区および荻窪のまちづくりは15分都市のコンセプトを！



**問** 区立施設建設の際、機能を集約する観点で容積率を最大限活用すべき。その場合杉並保健所ほどの程度床面積が増えたか。  
**答** 約2800㎡。なお、建築制限上、許容容積率の全てを活用できない場合等もある。



**問** 荻窪駅北口広場と隣接した地域の建替計画について、区が把握している情報は、低層階は商業用途の見込みだが高層階はロータリー等の環境改善等や将来的に高架道路と接続可能な設計上の考慮等を求めるべきでは。

**答** 共同建替の予定がある。上階は共同住宅予定。民間による事業だが、駅前広場の歩行空間の環境改善や高架道路を設けた場合の考慮等も含め、まちのビジョン等の共有等を通じ、荻窪駅周辺の利便性向上、にぎわいと住環境が調和したまちづくりが進められるよう努める。  
**問** 杉並区および荻窪のまちづくりに、15分都市のコンセプトを活用することについて見解は。  
**答** 15分都市のコンセプトにも通ずる取組を進めてきた。一方移動のしやすさには課題も残されており、各地域の実情に応じた課題解決に取り組む。

災害時の『TKB(トイレ・キッチン・ベッド)』の確保を



**問** 防災基本計画の「福祉的な支援」について区の受け止めは。  
**答** 絶えず意識するべき重要な要素と認識。震災救援所に簡易間仕切りセットを新たに配備し、携帯トイレの配備を拡充予定。



**問** 震災救援所における段ボールベッドの調達、運搬、配備等はどのように計画しているか。  
**答** 高齢者など要配慮者の優先使用を想定し、震災救援所、福祉支援所等に配備する。都内の紙業会社との協定に基づき調達し、事業者の運搬が困難な場合は区も協力して行っていく。

**問** 区内オープンスペース等の公有地は、推計される災害廃棄物の仮置場として十分な面積か。  
**答** がれき処理で使用できる面積は、140カ所の区立公園のうち約51・6万㎡を想定しており、必要面積は確保されると認識。地域偏在等の課題もあり、さらなる確保が重要である。  
**問** 災害時の補正予算の内容を予測して積算するなど、財政上の危機管理の演習を行っているか。  
**答** 地域防災計画の被害想定から現時点で予測可能範囲における被災時の補正予算の内容を積算する等、研究していきたい。

区民の8割超が生活苦かつてない事態に緊急の対策を！！



**問** 党区議団が実施した区民アンケートでは暮らしが「苦しくなった」「苦しい状況が続いている」との回答は8割を超えた。深刻化する物価高騰で区民の大多数が生活苦という、かつてない事態に。財政調整基金も活用し最大の対策が求められるか。  
**答** 国が新たな対策を検討しているが生活の実態を最もよく知るのは基礎自治体。国・都の動向を踏まえつつ区民生活を支えるために必要な事業はあらゆる財源を念頭に実施してゆきたい。



**問** プレミアム付商品券は物価対策として重要。実施を求めるか。  
**答** 国や都と連動して行う取組全体の中で総合的に判断する。

**問** 電気代は前年同月比4%の上昇。中小企業の光熱費助成について再実施を求めるか。  
**答** 国の動向、社会経済状況、産業団体等の意見なども踏まえ、区としてもさらなる対策が必要と判断した際は検討していく。  
**問** 就学援助の認定基準額を前・田中区长に引き下げられる以前の水準へと回復させるためにさらなる拡充を。  
**答** 義務教育の保護者負担軽減策全体の中で検討していく。

女性の選択肢が保障される杉並区に向けて



**問** 2023年度の検診等も含めた正常分娩の妊婦の合計負担額の平均は、東京都が約72万円、全国平均より15万円も高い。高額の費用が出産のハードルに なっているのではないか。低所得者など産婦人科の受診を控える、しづら理由がある方に対し、妊娠判定のための受診料の助成を行うことを求めるか。  
**答** 低所得等の妊婦に対する初回産科受診に要する費用の助成制度を創設することとした。2024年内を目途に実施する。



**問** 区が個人の尊厳と権利を尊重し、シングルであっても子どもがいてもいなくても、女性の多様な生き方と選択肢を保障する自治体であることを目指し、若い世代をはじめ多くの区民に広くアピールすることを求めるか。  
**答** 人生における自己決定ができること、多様な選択肢を持つことは、自分らしく生きられることであり、全ての人のために重要かつ保障されるべき権利であると考え。今後もジェンダー平等の観点から、性差に関する固定観念等の意識改革と個人の多様な選択を尊重する社会に向け理解促進を推進していく。

障害者雇用、読書バリアフリー、投票所に行けない人への支援



**問** 江東区では庁舎内の売店で商品説明や接客を、都庁では展望室で観光客に対する案内業務を分身ロボットが行っている。庁舎内の新たな働き方として、外出困難な重度障害者等が在宅勤務できる分身ロボットを使用し、遠隔操作が可能な分身ロボットは、就労機会を広げることが可能か。  
**答** 遠隔操作が可能な分身ロボットは、就労機会を広げることが可能か。区の障害者雇用を充実させる上で、ご紹介の事例も参考にしたいと考える。



**問** 全ての人が読書の楽しさを味わってもらうよう、バリアフリー図書を集めた「りんごの棚」を区立図書館に設置してほしい。  
**答** 現在、区内3つの地域図書館において「りんごの棚」などのコーナーを設置。他の複数館で、今後、設置を計画している。

**問** 障害や病気で投票所に行けない人への支援に対して区の考えは。  
**答** 区民から歩いていくのが大変なので近くに設けてほしい等の問い合わせがある。他区の状態も見ながら支援可能なものについて研究していく。

学校開放の予約システムの導入と浜田山駅南口計画の現状



**問** 学校開放で区の公共施設予約システムを導入する目的と導入校の選定根拠について伺う。  
**答** 学校を地域の公共財として区民利用の幅を広げることと目的とした。体育館の登録団体数や利用回数が多いこと、区内7地域に1校ずつとすること等を基本観点とし、学校に聞き取りをした上で選定した。



**問** 学校のスポーツ施設の一般活用をどう進めていくべきと考えるか。また、予約システム導入の運用が子どもたちのスポーツ活動に影響を与えようとしていない現状をどう捉えているか。  
**答** 誰もが利用しやすい仕組みや施設管理体制を整えていくことが欠かせない。その上で、子どもたちが少年団体を通してスポーツに打ち込める環境を整えることも非常に大切である。

**問** 計画の白紙撤回以降、浜田山駅南口開設に向けて、尽力してきたこと、具体的な調査内容、京王との協議内容について伺う。  
**答** 地域住民との意見交換、登記簿による権利状況や水道管・下水管に関する図面上での調査等を行っており、京王電鉄とは地域動向等の意見交換を行った。

※掲載している一般質問の内容は当時の発言をもとに構成しているため、現在の状況とは異なる場合があります

杉並区におけるジェンダー平等の取組について



山名かなこ (れ耕)

問 区の各種審議会などの女性委員の割合は4年間で1・3%しか上がっておらず、目標値の40%に届いていない。割合を50%にすることをルール化するクオータ制を導入しては。



答 様々な課題もあることから丁寧な議論が必要と考えており、今後「ジェンダー平等に関する審議会」でも意見を伺いたい。

問 女性管理職を増やす上で、現職の管理職の働き方がロールモデルとなるような状況を作り出すことが必要だと思いが。

答 管理職指名制を活用し、今年度から管理職増員による負担軽減に取り組んでいる。ワーク・ライフ・バランスの保たれた管理職がロールモデルとなり、男女問わず、昇任意欲が向上するという好循環が生まれることを目指していきたい。

問 管理職への障壁や仕事の持ち帰りなど現職の管理職にアンケートを実施し、現状把握の上で解決策を考えることが大切だ。

子育て支援の所得制限について



宇田川ゆうじ (無都)

問 放課後等デイサービスの月額利用料は「一般1」では最大4600円「一般2」では最大3万7200円で負担上限額の差はあまりにも大きいと考える。

答 負担上限額に差があることから、不公平感を感じる方がいるものと認識している。

問 区はこれまで障害児童の義務教育期間までの補装具費負担を助成してきたが、令和6年4月に国の補装具費支給の所得制限が撤廃された。令和5年度の児童補装具費助成に関する歳出の決算額と仮に国の所得制限を適応した場合の金額との差額はいくらか。



答 決算額は約800万円で撤廃された所得制限を適用した場合、約330万円、差額は約470万円となる。

問 この差額で放課後等デイサービスの所得制限撤廃等、障害児福祉への費用充当は可能か。

答 この差額のみをもって負担の軽減を行うことは困難である。

問 放課後等デイサービスの所得制限の撤廃などについて取り組む必要があると考える。

プラスチックの蛇口を閉める対策、公民連携プラットフォーム



山手明彦 (緑グ)

問 プラごみの製造・使用を減らし、「蛇口を閉める」ことに注力しなければ根本的な解決にはつながらない。今後リユース容器事業をどう拡大していくのか。



答 容器の種類拡大や貸し出しの在庫数確保の課題などの改善を図るとともに、一層周知に取り組み利用を促進していく。

問 国に対してプラスチック容器包装へさらなる法整備を要請することはできないか。

答 これまでも、使用済み製品の回収・再資源化等にかかる経費を生産者に負担させる拡大生産者責任の徹底を要望してきた。今後国へ要望していく。

問 「やりながら学ぶ」という方法が特徴である横浜市のリビングラボの手法を意図的に取り入れることについて区は、どのように考えているのか。

答 区が運用している公民連携プラットフォームと共通する面があり、手法を取り入れていくことは有効であると考えている。

問 公民連携プラットフォームの取組の先に目指す区政や上位に掲げるビジョンはあるのか。

答 区民が区政と関わり、区政を自分事として捉えていく住民自治の実現につながると考える。

人権保障としての福祉から地域共生社会を目指す



てらだはるか (立憲)

問 まちづくりとして公共施設の整備に福祉を織り込み、権利保障をしていくという考え方はつきり打ち出してほしい。

答 施設マネジメントの推進に当たっては、単に施設をどうするかという視点だけでなく、地域における福祉やコミュニティづくり等の観点から検討する。

問 重層的支援会議や個別ケースに係る困難事例対応支援会議の開催実績と主な内容は。

答 10月末時点で、重層的支援会議は5回、庁内ネットワーク上で各分野の制度やサービスを検索できるシステム構築に向けた検討等を行った。困難事例対応支援会議は74回、高齢の親が自立できない事情を抱えた子を支える「8050問題」など、複数の生活課題を抱えた世帯について事例ごとに各支援者の役割を調整し、支援内容等の検討を行っている。

問 地域共生社会を目指す中で民生委員の役割は大きいが高齢化や空白地域への対策は。

答 民生委員は現在定数433人にに対し53人欠員。地域住民や宅配業者、ケア24など多様な主体により見守りを行っている。

問 観察し支援することは特別なことでもない。通常の学級でもこれができるれば、勉強が分らないことが理由の不登校の解決につながるのでは。

答 授業が分かり、楽しいと感じられるようになれば不登校児童生徒が減ることも考えられる。

問 個別指導計画は通常の学級でも立ててもらえるものか。



答 必要に応じ、年間を通じて作成することが可能。

問 計画に基づいた指導に当たり教員のスキルアップの手段は。

答 教育支援チームによる訪問支援や、特別支援教室の巡回指導教員との連携などにより、専門的な知見に基づく助言や援助等を行っている。また今年度から、全ての小学校に「個別の学び支援システム」を導入し、現在、活用方法の研修を通じて専門性向上を図っている。

問 観察し支援することは特別なことでもない。通常の学級でもこれができるれば、勉強が分らないことが理由の不登校の解決につながるのでは。

答 授業が分かり、楽しいと感じられるようになれば不登校児童生徒が減ることも考えられる。

「特別ではない特別支援教育」によって解決できることは?



鈴木ちづる (維無)

問 特別支援教育の目的とは。

答 共生社会の実現に向け障害のある子ども自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するため一人一人の教育的ニーズを把握し生活や学習上の困難を改善・克服するための適切な指導と必要な支援を行うこと。

問 必要に応じ、年間を通じて作成することが可能。

問 計画に基づいた指導に当たり教員のスキルアップの手段は。

答 教育支援チームによる訪問支援や、特別支援教室の巡回指導教員との連携などにより、専門的な知見に基づく助言や援助等を行っている。また今年度から、全ての小学校に「個別の学び支援システム」を導入し、現在、活用方法の研修を通じて専門性向上を図っている。

問 観察し支援することは特別なことでもない。通常の学級でもこれができるれば、勉強が分らないことが理由の不登校の解決につながるのでは。

答 授業が分かり、楽しいと感じられるようになれば不登校児童生徒が減ることも考えられる。

岸本区長の道路整備事業と治水事業への責任を問う。



井口えみ (無都)

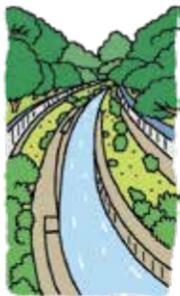
問 区長は選挙中、都市計画道路の反対住民から何を要望されたような姿勢を示したのか。

答 まちの方から心配や不安の声が聞いている中で、住民合意が得られていないものは立ち止まり見直すことを約束した。

問 選挙時の「見直す」という立ち位置と、自身での説明を避け、まるでなかったかのように平然と所管に進めさせている現在の姿勢は一貫していない。どのように心境が変化したのか。

答 姿勢や考えは、選挙時から一貫して変わっていない。

問 具体的な目標も効果も不明瞭なままグリーンインフラを進めようとするれば、善福寺川上流域での都の事業に対する誤った認識を住民に広め、事業促進への妨げになるのでは。説明は都に任せきりで、反対住民の声をそのまま区の要望として都に提出する姿勢は、責任逃れとも受け取られかねない。改めるべき。



問 区民等に、都により河川等が整備された地域では浸水被害が軽減されている事実を伝えるとともに、グリーンインフラを両輪で進めることが必要と説明。都の事業の妨げには当たらない。

答 区民等に、都により河川等が整備された地域では浸水被害が軽減されている事実を伝えるとともに、グリーンインフラを両輪で進めることが必要と説明。都の事業の妨げには当たらない。

超短時間雇用で障がい者の就労をすすめる共生の地域づくりを



そねふみ (生ネ)

問 障がい特性によっては毎日9時から5時までの就労形態が難しいと聞く。法定雇用率に問わず多様な雇用形態で就労可能となれば、多くの障がい者が就労により社会参加できるのでは。

答 短時間の雇用形態があることで就労機会が増えると考えられる。

問 2024年4月から長時間勤務が困難な精神障がい者等を特例的に法定雇用率に算入可能となったが、区内障がい者の就労にどのような変化があったか。

答 「重度障害者スタートアッププログラム事業」を開始。就労移行支援事業と短時間就労に各1名の方が進むことができた。

問 「超短時間雇用モデル」では雇用主が必要と決めたことだけを超短時間行うことで障がい者は安心して働くことができる。また、他の社員と同じ場所で共に働くため、本当の意味で共生社会をつくることになる。この取組について区の認識は。

答 業務の切り出しによるマッチングという考え方については、雇用者、障害者双方に有益なケースがあると考えている。新たな就労先の開拓に当たり、超短時間雇用も含め取り組んでいく。

問 業務の切り出しによるマッチングという考え方については、雇用者、障害者双方に有益なケースがあると考えている。新たな就労先の開拓に当たり、超短時間雇用も含め取り組んでいく。

問 業務の切り出しによるマッチングという考え方については、雇用者、障害者双方に有益なケースがあると考えている。新たな就労先の開拓に当たり、超短時間雇用も含め取り組んでいく。

問 業務の切り出しによるマッチングという考え方については、雇用者、障害者双方に有益なケースがあると考えている。新たな就労先の開拓に当たり、超短時間雇用も含め取り組んでいく。

ふるさと納税で住民税流出！もう非常事態宣言を出す段階だ



通常の寄附と比べて、ふるさと納税の優遇措置は何か。

基本控除額に加えて、特例控除額を個人住民税所得割額の2割を上限に控除できる。

全国知事会の7年度予算等に関する要望と、昨年東京都と特別区が総務大臣に提出したふるさと納税に関する共同要請とはどのように異なっているか。

知事会は今後とも国においても制度の健全な運用に向けた取組を進めるべきと要望。一方、特別区等はふるさと納税制度の抜本的見直しとワンストップ特例の廃止等を求めている。見解に大きな差異が生じている。



人件費も含めてごみの収集運搬に約60億円。53億円もなくなったら、区民の皆さん、ごみの収集がこれから週に1回に減りますとか、給食費無償化やめますとかいろいろ言わないとなかなか危機感が伝わらない。

令和6年度の流出額が53億3千万円、57万区民で割ると、1人当たり9300円くらい。大変大きな金額で、影響も出てくる。流出に歯止めをかけた。区民に必死さが伝わるようにアピールしていきたい。

区内公有地でAV撮影が発覚！岸本聡子区長は抗議せよ！



区役所内で、ピアス着用の男性職員や、トレーナー着用の職員がいた。だらしない格好は、岸本区長の日頃の非常識ないでたちの影響。職員に注意したか。

ピアスの大きさについての注意はした。トレーナーについては特段注意していない。

男性のピアスはダメでは。大きいものは控えようというハインドブックに記載。

介護や保育の従事者ならばともかく、役所内で働く事務職、トレーナーもダメでは。

問題ないと判断。区立蚕糸の森公園ほか、区内公有地でAVが撮影されたのは、区が拙速に制定を強行した「性の多様性条例」の悪影響。この事案について、私は令和6年6月の議会でも区に公表を求めたところ、区は11月に公表した。なぜ、これほど遅れたか。

区HPでの公表準備に取り掛かり、11月に公表。道路上で撮影された作品について、「メーカーは4月に配信を停止した」と区は答弁。が、実際は、この作品は同社により現在再販されている。抗議せよ。



抗議する考えはない。

複合的な生活課題を抱えた方の相談窓口、ワクチンの危険性



認知症、精神保健、ひきこもり等複合的な相談に応じられるよう相談員のスキルアップを。重層的支援会議で最新課題等を踏まえた研修内容を検討し、より実践的かつ効果的な研修でスキル向上に取り組んでいく。

新型コロナウイルス接種のデメリット情報を分かりやすく。危険なロット番号の調査を。

区HPに使用ワクチンの副反応を記載。ロット番号の調査は今後の参考になりにくいことなどから現時点で考えていない。

武田薬品の不活化ワクチンなど医療機関別使用ワクチンなどを公表すべき。区の見解は。現時点では、タイムリーに公表するのは困難だが、他区の状態等を踏まえ、研究していく。

アレルギー等の理由で牛乳が飲めない子供に大豆製品等の提供でカルシウム不足に対応を。



カルシウムは牛乳以外の食品にも含まれる。学校給食は、家庭等の食事を補つものである。

校庭の地中に釘等残留の可能性がある。今後の安全管理は。学校による日常的な点検に加えて、レーキ掛けによる調査を継続的に行っていく。

アナログ規制は再考を本庁舎の改築(建替)はどこで合意?



計画案で本庁舎の改築(建て替え)を既成事実のようにしている。どこで合意されたのか。

いつどのように改築するのかなどは決まっていない。区長が住民自治を重視し、対話の区政を進めていることは著書にも記載があるが、実際にはよく分からないまま既成事実化を進めている事例もある。既に改築することを決めているから、先の答弁になる。どこで合意形成が図られたのか改めて伺う。

何らかの措置を講じなければならぬことになりはしないので、検討結果をお示しする。

杉並区住民投票の請求に関する規則は、当時の区長自ら20年以上前に制定した。だが、その請求手続方法は、今日ではアナログ規制の一種と化している。DXが進展している現在、デジタルの力でより有効な請求方法を取り入れることが可能だ。

アナログ規制見直しの取組等を踏まえ、今後研究していく。

区長発言による住民投票について区長はどう考えているか。

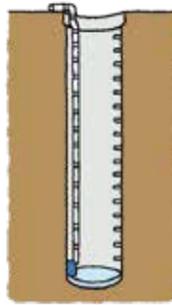


住民投票の活用は慎重に取り扱うべきと考えている。

河北病院等阿佐ヶ谷駅周辺の工事と成田東の都市計画道路



阿佐ヶ谷駅北口に治水工事(第二桃園川幹線枝線)のため約6年間立坑ヤードが設置される計画。バス停や横断歩道等駅北口の機能が制限され危険性が高まる。工事の時期はいつか。また住民や利用者への説明会を早期に開催するよう求める。



時期は協議中で未定。事業を行う下水道局へは丁寧な説明を行うよう求めていく。

先の議会で、吉田順之・前副区長が河北病院顧問に就任していたことを確認した。天下りともとれる事案である。また先日、病院移転延期の報告があった。計画はすでに1年延期されており、再度の延期で区への用地引き渡し時期や土壌汚染対策等に影響はないか。

現時点では影響はないものと認識している。

成田地域の都市計画道路補助133号線に関連して(仮称)デザイン会議では「緑豊かな今の環境を変えてほしくない」等の意見が多数あった。道路に反対する住民の声は東京都にどのように伝えているか。

要望書をメール添付して送っている。

陳情の審査結果

【不採択】

◇大田黒公園の休園日の見直しを求める陳情 (6陳情第28号)

◇大田黒公園の休園日を見直すことを求める陳情 (6陳情第29号)

◇第7次エネルギー基本計画の策定前に、1・5度目標の確実な実現を目指す内容にすることについて杉並区議会から国に対して意見書を提出することを求める陳情 (6陳情第34号)

◇杉並区立小中学校における「基本設計案の評価基準」の設定に関する陳情 (6陳情第24号)

◇杉並区立小中学校における「改築基本設計案の評価基準」の設定に関する陳情 (6陳情第35号)

意見書

国際社会と将来世代に1・5℃目標の責任を果たす第7次エネルギー基本計画改定を求める意見書

区議会は、国会と政府に対し、第7次エネルギー基本計画改定に際して9事項を求める意見書を12月9日付けで衆議院議長等に送付しました。

※意見書の全文は、区議会ホームページでご覧になれます。



議会日誌

- 11月 11日 議会運営委員会 本会議
- 19日 議会運営委員会 本会議
- 20日 本会議
- 21日 本会議
- 25日 本会議
- 26日 区民生活委員会
- 27日 保健福祉委員会
- 28日 議会運営委員会 都市環境委員会 本会議 文教委員会
- 29日 本会議
- (12月) 2日 総務財政委員会
- 3日 災害対策・防犯等特別委員会
- 4日 道路交通対策特別委員会
- 5日 文化芸術・スポーツ・まちのにぎわいに関する特別委員会
- 6日 DX・議会改革に関する特別委員会
- 9日 議会運営委員会 本会議
- 17日 道路交通対策特別委員会(視察) 議会運営委員会
- 18日 議会運営委員会

## 常任委員会・特別委員会等の活動をお知らせします(11・12月)

### 常任委員会

◇総務財政委員会
【開会日】6年12月2日
【議案審査】第78・80～87・94～96・99号
【所管事項調査】杉並区総合計画等の一部修正案の策定について ほか2件
◇区民生活委員会
【開会日】6年11月26日
【所管事項調査】令和6年度 定額減税補足給付金(調整給付)の給付状況について ほか3件
◇保健福祉委員会
【開会日】6年11月27日
【所管事項調査】杉並区健康医療計画の改定(案)について ほか3件
◇都市環境委員会
【開会日】6年11月28日
【議案審査】第79・88号、議員提出議案第3号
【陳情審査】6陳情第28・29・34号
【所管事項調査】自転車ネットワーク路線の再構築案について ほか8件
◇文教委員会
【開会日】6年11月29日
【議案審査】第89～92・97・98号
【陳情審査】6陳情第24・35号、6請願第4号
【所管事項調査】令和6年度「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価(令和5年度分)」の実施結果について ほか6件

### 議会運営委員会

【開会日】6年11月11日	【議題】定例会の提案事項について ほか
【開会日】6年11月19日	【議題】定例会の日程について ほか
【開会日】6年11月28日	【議題】定例会の追加提案事項について ほか
【開会日】6年12月9日	【議題】議案審査結果報告について ほか
【開会日】6年12月18日	【議題】臨時会の提案事項について ほか

### 特別委員会

◇災害対策・防犯等特別委員会
【開会日】6年12月3日
【所管事項調査】土砂災害警戒区域等の指定解除について ほか1件
◇道路交通対策特別委員会
【開会日】6年12月4日
【所管事項調査】外環道の進捗状況について ほか1件
【視察日】6年12月17日
【視察内容】東京外かく環状道路本線トンネル(北行)東名工事現場
◇文化芸術・スポーツ・まちのにぎわいに関する特別委員会
【開会日】6年12月5日
【所管事項調査】令和6年度「交流自治体中学生親善野球大会」の実施結果について ほか3件
◇DX・議会改革に関する特別委員会
【開会日】6年12月6日
【所管事項調査】令和6年度 区のデジタル化に関する取組進捗について ほか1件

**令和6年常任委員会行政視察** 区議会では、魅力ある杉並づくりに役立てるため、先進的な事業などを行う自治体等の視察を各常任委員会で行っています。

委員会名	視察日	視察先	調査事項
区民生活	10月24日	千葉県 船橋市	1 書かない窓口について 2 おくやみコーナーについて
保健福祉	10月29日	岡山県 岡山市	放課後児童クラブ待機児童ゼロを目指す取組について
	10月30日	広島県 尾道市	地域共生・重層的支援の取組について

委員会名	視察日	視察先	調査事項
都市環境	10月25日	茨城県 守谷市	グリーンインフラ推進の取り組みについて
文教	11月1日	東京都 大田区・ 調布市	不登校児童・生徒への取り組みについて

報告書は区議会ホームページで公開しています。  
なお、総務財政委員会は1月16日に視察予定です。



今話題の〇〇について議員の考えが気になる!

### 会議録を検索できます

会議録とは、本会議や委員会での議員の質問や区長等の答弁内容を詳しく記録したものです。

杉並区議会ホームページの会議録詳細検索システムでは、キーワードや議員名などで、会議録の内容を簡単に検索できます。

なお会議録は区立図書館や区政資料室(区役所西棟2階)でもご覧いただけます。

※会議録は、会議終了後の約2カ月後からご覧になれます。



←アクセスはこちら

① 詳細検索

② 検索キーワードを入力

③ 検索実行

まず①「詳細検索」をクリックし、次に②キーワードを入力して、最後に③「検索実行」をクリックすると…

検索したキーワードが含まれる会議録が抽出されます!

1月20日(月)午前11時ごろ公開!

## 区議会ホームページをリニューアルします

必要な情報を見つけやすくするとともに、議会への興味関心を高めもらえるように、区議会ホームページのデザインを一新します。

1月20日(月)午前11時ごろに区のホームページとあわせて公開されます。

### 主な変更点

- ・スマートフォンでも見やすいシンプルなデザインに一新
- ・閲覧数の多いページに素早く簡単にアクセスできるようなレイアウトに変更



※6年12月17日時点のイメージ画面

# 議案等の概要と審議結果



議員別の表決結果は、こちらからご覧になれます。

## 【第4回定例会】

○=賛成 ×=反対 △=会派で意見が分かれたもの 欠=欠席 令和6年12月9日議決(◆は11月25日議決)

議案番号	件名	付託	概要	自民	共産	立憲	公明	無都	維新	生ネ	れ耕	安心	参政	革新	セン	緑グ	杉わ	共生	無	杉ク	fr	結果	
78号	杉並区職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例	総財	子育て部分休暇の制度化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
79号	杉並区営住宅条例の一部を改正する条例	都市	都営住宅の移管に当たってのその位置の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
80号	杉並区立荻窪地域区民センター改修給排水衛生設備工事の請負契約の締結について	総財	契約金額：1億8,920万円 契約の相手方：松本工業 株式会社	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
81号	杉並区立荻窪地域区民センター改修空調設備工事の請負契約の締結について	総財	契約金額：3億4,320万円 契約の相手方：シンコー・田中 建設共同企業体	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
82号	議会の議決を経た契約の一部変更について	総財	令和4年第3回定例会で議決を経た議案第58号について、仕様の一部を変更すること等に伴う契約金額の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
83号	議会の議決を経た契約の一部変更について	総財	令和4年第3回定例会で議決を経た議案第59号について、仕様の一部を変更すること等に伴う契約金額の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
84号	議会の議決を経た契約の一部変更について	総財	令和4年第4回定例会で議決を経た議案第69号について、仕様の一部を変更すること等に伴う契約金額の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
85号	議会の議決を経た契約の一部変更について	総財	令和5年第3回定例会で議決を経た議案第73号について、仕様の一部を変更すること等に伴う契約金額の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
86号	負担付き譲与の受領について	総財	杉並区営住宅用として、土地(高井戸西二丁目1095番1ほか2筆)、建物、工作物、及び認知症高齢者グループホーム用地を、区有財産として取得	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
87号	令和6年度杉並区一般会計補正予算(第6号)	総財	工事入札不調に伴う荻窪地域区民センター大規模改修に係る追加の工事費のほか、認知症高齢者グループホーム等への建設助成に要する経費など、24事業10億9,728万5千円の増額補正のほか、繰越明許費及び債務負担行為の補正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
88号	特別区道の路線の認定について	都市	南荻窪二丁目4番～南荻窪二丁目4番で新たに特別区道第2590号路線を認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
89号	杉並区立南荻窪図書館外3施設の指定管理者の指定について	文教	指定管理者の名称：TRC・丸善・大星すぎなみグループ 指定期間：令和7年4月1日から令和12年3月31日	○	○	○	○	○	○	△ 賛成1	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	可決	
90号	杉並区立宮前図書館外1施設の指定管理者の指定について	文教	指定管理者の名称：TRC・大星すぎなみグループ 指定期間：令和7年4月1日から令和12年3月31日	○	○	○	○	○	○	△ 賛成1	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	可決	
91号	杉並区立成田図書館外2施設の指定管理者の指定について	文教	指定管理者の名称：株式会社 ヴィアックス 指定期間：令和7年4月1日から令和12年3月31日	○	○	○	○	○	○	△ 賛成1	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	可決	
92号	杉並区立高円寺図書館、杉並区立コミュニティふらっと高円寺南及び杉並区立すぎはち公園の指定管理者の指定について	文教	指定管理者の名称：すぎはち共創グループ 指定期間：令和7年4月1日から令和10年3月31日	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	可決	
93号	人権擁護委員候補者の推薦について◆	省略	橋本剛(はしもと つよし)氏を候補者として推薦	○	○ 欠2	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	賛成	
94号	杉並区長等の給与等に関する条例等の一部を改正する条例	総財	区長等の給与の改定等	○	○	○	○	×	△ 賛成1	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	可決	
95号	杉並区職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	総財	職員の給与の改定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決	
96号	杉並区会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	総財	会計年度任用職員の給与の改定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決	
97号	杉並区幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	文教	幼稚園教育職員の給与の改定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決	
98号	杉並区学校教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	文教	学校教育職員の給与の改定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決	
99号	令和6年度杉並区一般会計補正予算(第7号)	総財	特別職報酬等審議会の答申及び特別区人事委員会勧告に伴う特別職、議員並びに区職員の給与等の改定により不足が見込まれる人件費等の追加経費について、1億9,077万2千円の増額補正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
報告34号	地方自治法第180条第1項の規定により指定された契約金額の増減の専決処分をしたことの報告について◆	—	令和4年第3回定例会で議決された「(仮称)杉並区立高円寺図書館等複合施設建設建築工事」の契約金額を1億5,248万2千円増額し、24億6,248万2千円とした	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	報告 聴取	
報告35号	地方自治法第180条第1項の規定により指定された契約金額の増減の専決処分をしたことの報告について◆	—	令和5年第2回定例会で議決された「杉並区立中瀬中学校改築電気設備工事」の契約金額を3,171万3千円増額し、3億7,623万3千円とした	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	報告 聴取	
報告36号	地方自治法第180条第1項の規定により指定された契約金額の増減の専決処分をしたことの報告について◆	—	令和5年第2回定例会において議決された「杉並区立中瀬中学校改築給排水衛生設備工事」の契約金額を1,322万2千円増額し、3億252万2千円とした	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	報告 聴取	
報告37号	地方自治法第180条第1項の規定により指定された契約金額の増減の専決処分をしたことの報告について◆	—	令和5年第2回定例会において議決された「杉並区立中瀬中学校改築空調設備工事」の契約金額を2,389万2千円増額し、4億5,597万2千円とした	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	報告 聴取	
報告38号	地方自治法第180条第1項の規定により指定された契約金額の増減の専決処分をしたことの報告について◆	—	令和5年第3回定例会において議決された「杉並区立富士見丘中学校改築建築工事」の契約金額を9,306万円増額し、31億8,406万円とした	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	報告 聴取	
報告39号	地方自治法第180条第1項の規定により指定された契約金額の増減の専決処分をしたことの報告について◆	—	令和5年第3回定例会において議決された「杉並区立中瀬中学校改築建築工事」の契約金額を1億1,103万4千円増額し、38億7,303万4千円とした	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	報告 聴取	
報告40号	地方自治法第180条第1項の規定により指定された契約金額の増減の専決処分をしたことの報告について◆	—	令和5年第4回定例会において議決された「(仮称)杉並第八小学校跡地公園整備工事」の契約金額を526万9千円増額し、4億896万9千円とした	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	報告 聴取	
報告41号	地方自治法第180条第1項の規定により指定された損害賠償額の決定の専決処分をしたことの報告について◆	—	5件の法律上の義務に属する損害賠償額を報告	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	報告 聴取	
提出議案	3号	国際社会と将来世代に1.5℃目標の責任を果たす第7次エネルギー基本計画改定を求める意見書	都市	6面をご覧ください	×	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	可決	

《付託委員会》  
 総財/総務財政委員会、都市/都市環境委員会、文教/文教委員会、省略/委員会付託省略  
 《会派名・構成人数》(令和6年12月9日現在)  
 自民/杉並区議会自由民主党(8名)、共産/日本共産党杉並区議団(6名)、立憲/立憲民主党杉並区議団(6名)、公明/杉並区議会公明党(6名)、無都/無所属・都民ファーストの会(4名)、維新/維新・無所属議員団(4名)、生ネ/区議会生活者ネットワーク(2名)、れ耕/れいわを耕す(2名)、安心/安心・安全杉並の会(1名)、参政/参政党杉並(1名)、革新/都政を革新する会(1名)、セン/杉並をセンタク致し候(1名)、緑グ/緑の党グリーンズジャパン(1名)、杉わ/杉並わくわく会議(1名)、共生/共に生きる杉並(1名)、無/無所属(堀部)(1名)、杉ク/区政杉並クラブ(1名)、fr/far right(1名)